

# 中広中学校だより

平成23年7月21日(木) NO. 7

校訓・・・清純・平和・希望

学校教育目標・・・「心身ともに健康で、社会に役立つ自主的行動のできる生徒を育成する」

広島市立中広中学校

## 夏休みを安全・健康に・・・ 目標・夢実現への階段を上ろう

7月22日(金)から、夏季休業に入ります。今年は例年になく梅雨明けからの暑さと台風の襲来がありました。まだまだ暑さは当分続きそうです。この間、例年全国では、学齢前の小さな子どもたちや、小・中・高校生による水際や不慮の事故・熱中症等による病院搬入が報道されます。今年の夏も、安全第一に、決して事故で命を落とすようなことがあってはなりません。

また、この夏休み中も、日頃の家庭学習が途切れるようなことのないようにしましょう。「継続は力なり」です。努力した人だけに成果がもたらされ、その努力した量に応じて成果も大きくなります。取組のないところに成果はありません。

目標や夢を実現させるためにはどのようにすればいいのでしょうか。

### ① スモールステップに分ける

10段の階段を上ろうとすれば、急に5段目に足を乗せることはできません。一段一段確実に踏みしめながら登らねばなりません。目標達成も同じことで、そこに至るまでに通過すべきポイントがあります。目標達成のイメージを持ち、いつまでにどこまでやるのかを決めておくこと取組もしやすくなります。

### ② 小さな達成感を積み重ねる

①のスモールステップごとに、できたことを実感するためにも記録に残し、眼に見えるようにすることが大切です。カレンダーや計画表に印をしたり、シールを貼ったりして自分を自分でほめてあげることです。できたこと、達成したことが実感できることが次のやる気・モチベーション向上につながっていきます。

### ③ 周囲に公開し、評価してもらう

家族や周囲を応援団にするためには、自分の目標・取り組み・計画を公開することです。自分だけで密かに決意しても、周囲が知らなければ、思わぬ誘惑に負けてしまうかも知れません。また、達成できたときに家族や周囲から賞賛の声をかけてもらうこともできます。

①～③を意識しながら、生活リズムを崩さないで、「何か」が残せる夏休みにしましょう。



裏面に続く ⇒

## ☆ 県大会・全国大会へ出場します

先週末までに、広島市・県中学校体育連盟主催の各選手権大会に本校の各部が参加しました。結果は一部新聞でも報道されていますが、本校の**柔道・剣道・女子ソフトボール・陸上・卓球**の各部・部員が広島県選手権大会に出場します。7月21日現在、柔道・剣道では、個人戦で全国大会出場を決めています。これからの子どもたちの活躍に期待したいと思います。保護者・地域の方々からの日ごろからの応援・支援に感謝申し上げます。

## ☆ PTA文化部行事がありました

7月14日(木)、PTA文化部主催の行事がありました。昨年に引き続き、校長の話聞く会となりました。今回は学習指導要領の変遷と学校経営計画、キャリア教育についてお話ししました。90分間、休憩なしで一気にお話させていただきました。その中から紹介します。



### 子育てってすばらしい！

1. 3.9. これは先月の6月1日に厚生労働省から公表された合計特殊出生率です。女性一人がその生涯に産む子どもの推定人数を示す数字です。この数にはどのような意味があるのでしょうか。計算しやすいように、仮に合計特殊出生率を1.5としてみると、一組の夫婦から1.5人の子どもができるということは、二組の夫婦から3人の子どもが生まれる社会です。親の世代からすれば、子どもの世代の人口は4人の親(二組の夫婦)から3人の子どもとなり、人口は0.75(75%)へ25%減少します。これが繰り返されると、孫の世代は更に $0.75 \times 0.75 = 0.56$ 、ひ孫の世代は、 $0.56 \times 0.75 = 0.42$ となり、実に最初の親の世代からは58%の人口減となり、まさに激減します。

こうした中で現在、子育て真っ最中のPTAの保護者の方々、まさに日本の未来をつくる重大な仕事をされているわけです。そんなお話をさせていただきました。

## お知らせ

### ☆ ご支援ありがとうございました

先日19日(火)、西区民文化センターで芸術鑑賞を行いました。広島交響楽団のコンサートマスターをされているバイオリンの田之倉雅秋さんとエリザベト音楽大学大学院でピアノをやっておられる小林知世さんのお二人にお出でいただきました。

田之倉さんのスピーチによれば、バイオリンはおおよそ1500年の歴史があるそうです。これだけ長きにわたって生き抜いてきた楽器と、非常に高いテクニックによるすばらしい演奏となりました。

途中には小林さんの左手だけのピアノ演奏も紹介頂きました。お話によれば、ヨーロッパでは、相次ぐ戦争・紛争によって多くの負傷者が出て、中には左手だけの片手でピアノを演奏するケースもあったそうで、そうした人のために作曲された曲も多いとのことでした。ここにも、苦難を乗り越えた人々の成果が人類共通の財産として民族を超えて残される、という文化芸術の奥深さを感じさせられます。

PTAの協力により、接待等を担当していただきました。ありがとうございました。中広中学校では、学校経営計画にあるとおり、豊かな人間性の育成を目指して、今後も本物の芸術を生(ナマ)で鑑賞する機会を年間1回は持ちたいと考えています。